

総合殺菌剤

農林水産省登録 第22631号

ホクサン

フロンサイド® SC



広く守り、強く攻める!

—すべては実りのために。—

フロンサイドは石原産業(株)の登録商標

根こぶ病をはじめ、広範囲の病害から大切な作物を守ります。

■ 適用病害と使用方法（一部抜粋）

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	10アール当り 使用液量(ℓ)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数				
小麦	紅色雪腐病 雪腐大粒菌核病 なまぐさ黒穂病	1000	60～150	根雪前	2回以内	散布	3回以内 (は種前は1回以内、 は種後は2回以内)				
	雪腐小粒菌核病	1000～2000	25								
		250									
ばれいしょ	疫病	500	100～300	収穫7日前まで	4回以内	種いも瞬間浸漬	6回以内 (種いも浸漬は1回以内、 植付前の土壌混和及び植付時の 植溝散布は合計1回以内、 植付後の散布は4回以内)				
	菌核病	1000～2000									
	夏疫病	2000									
	そうか病	100		—	植付前			1回			
かんしょ	基腐病	1000	100～300	収穫30日前まで	2回以内	散布	3回以内 (植付前は1回以内、 植付後は2回以内)				
やまのいも	葉渋病	2000		収穫7日前まで	4回以内		5回以内 (植付前の土壌混和は1回以内、 植付後の散布は4回以内)				
やまのいも(むかこ)				収穫21日前まで	3回以内		4回以内				
ごぼう	黒条病	1000		収穫14日前まで	6回以内		3回以内				
食用ゆり	葉枯病			植付前	2回以内		球根瞬間浸漬	8回以内(球根瞬間浸漬は 2回以内、散布は6回以内)			
あずき	炭疽病 灰色かび病	1000～2000	100～300	収穫21日前まで	3回以内	散布	3回以内				
	菌核病	1000									
いんげんまめ	炭疽病 灰色かび病	1000～2000		収穫7日前まで							
	菌核病	1000		収穫14日前まで							
べにばな いんげん	灰色かび病			にんじん				黒葉枯病			
乾腐病	50		—		定植直前	1回	5分間苗根部浸漬				
たまねぎ	灰色腐敗病 べと病 灰色かび病	1000～2000	100～300	収穫3日前まで	5回以内	散布	7回以内 (全面土壌混和は1回以内、 苗根部浸漬は1回以内、 散布は5回以内)				
	灰色かび病	250～500	25								
	白色疫病	1000	100～300					収穫30日前まで	4回以内	株元散布	5回以内 (は種前の土壌混和及び 苗床灌注は合計1回以内、 株元散布及び散布は4回以内)
	褐斑病	1000～2000									
てんさい	根腐病	1000		100	3ℓ/㎡	移植前	1回				
いちご	炭疽病	1000	50㎖/株	育苗期	1回	灌注	1回				
アスパラガス (露地栽培)	茎枯病 斑点病	2000	100～300	収穫終了後 但し、秋期まで	5回以内	散布	5回以内				
ゆり	茎腐症 (リゾプス菌による)	500	3ℓ/㎡	定植後	2回以内	土壌灌注	3回以内				

作物名	適用病害名	10アール当り使用量		使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数
		薬量 (mℓ)	希釈水量 (ℓ)				
はくさい	根こぶ病	500	100～200	定植前	1回	全面散布土壌混和	2回以内 (土壌混和は1回以内、 土壌散布は1回以内)
	尻腐病 軟腐病					全面土壌散布	
キャベツ	根こぶ病			は種または 定植前	2回以内 (苗床では1回以内、 本圃では1回以内)	全面散布 土壌混和	3回以内 (苗床では1回以内、 本圃での土壌混和は1回以内、 土壌散布は1回以内)
	苗立枯病 (リゾクトニア菌)					全面土壌散布	
	菌核病			定植前		全面土壌散布	
株腐病	100～200						全面散布 土壌混和
ブロッコリー カリフラワー		根こぶ病	は種前				
かぶ					定植前		
だいこん		亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)	全面土壌散布	2回以内 (土壌混和は1回以内、 土壌散布は1回以内)			
レタス 非結球レタス	ビッグベイン病 すそ枯病	全面土壌散布					
	すそ枯病、軟腐病		全面散布 土壌混和	6回以内 (種いも浸漬は1回以内、 植付前の土壌混和及び植付時の 植溝散布は合計1回以内、 植付後の散布は4回以内)			
ばれいしょ	粉状そうか病	400～600			20	植付前	1回
	粉状そうか病 そうか病	200	植付時				
かんしょ	基腐病	500	50～200	植付前		全面散布 土壌混和	3回以内 (植付前は1回以内、 植付後は2回以内)
			全面土壌散布				
やまのいも	褐色腐敗病	600	100～200	は種前		全面散布 土壌混和	5回以内 (植付前の土壌混和は1回以内、 植付後の散布は4回以内)
小麦	縞萎縮病		100				
	なまぐさ黒穂病	500		100～200	植付前		
チューリップ	微斑モザイク病 条斑病						

ホクサン
フロンサイド[®]
SC

殺菌剤分類 29

有効成分:フルアジナム…39.5%(w/w)
人畜毒性:普通物
(毒劇物に該当しないものを指している通称)

■ 使用上の注意事項（一部抜粋）



- 使用直前に容器をよく振ってください。
 - 本剤は保護効果主体の薬剤であり、病原菌に感染した後の散布では効果が不十分な場合があるので散布時期に注意してください。
 - いちごに使用する場合、新葉に被害を生じるおそれがあるので注意してください。
 - きゅうり、レタス等には被害を生じるおそれがあるので、周辺にそれらの作物がある場合にはかからないように注意してください。
 - 全面散布土壌混和で使用する場合、所定量の薬量を均一に散布し、土壌と十分混和してください。降雨直後の処理は、混和むらの原因となるのでさけてください。
 - 根こぶ病対象に本剤を多量に使用すると初期生育が抑制される場合があるので、適用薬量の範囲で使用してください。
 - 全面土壌散布で使用する場合は、畦立て作業後に所定量の薬量を均一に散布してください。
 - キャベツ、はくさい、レタスおよび非結球レタスの全面土壌散布では、初期生育の遅延を生じることがありますが、その後回復し、作物の生育、収量に影響はありません。(定植後の多雨または過度の灌水条件で発生しやすい)
 - だいこんに使用する場合、初期生育の遅延を生じることがありますが、その後の生育には影響しません。
 - 小麦、ばれいしょ、たまねぎに対して少量散布で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した兼用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。
 - 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に被害の有無を十分確認してから使用してください。
 - 本剤の使用に当たっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
 - 本剤は皮膚感作性があり、皮膚かぶれ等を起こすことがあるので、使用前にはラベルをよく読んでください。
 - 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
 - 本剤は眼および皮膚に対して刺激性があるので薬剤が眼に入ったり、皮膚に付着しないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。皮膚に付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 魚毒性等：
- ・水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼および海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
 - ・水産動植物(甲殻類・藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
 - ・使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
 - ・浸漬後の薬液は河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。※空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。



ホクサン株式会社

技術普及課

〒061-1111 北広島市北の里27番地4
TEL(011)370-2280 FAX(011)370-2113



製品情報
の

取り扱い

本印刷物は、2024年9月時点での知見に基づいて作成しています。

IBJ2410



紅色雪腐病



雪腐大粒菌核病



雪腐黒色小粒菌核病



雪腐褐色小粒菌核病



褐色雪腐病

小麦の雪腐病殺菌剤



シルバキュア[®]フロアブル

シルバキュアはバイエルグループの商標登録です

フロンサイド[®]sc

フロンサイドは石原産業の商標登録です

ランマン[®]フロアブル

ランマンは石原産業の商標登録です

各種、雪腐病の防除に!!



ホクサン株式会社

適用病害と使用方法(抜粋)

※平成29年8月現在

■ シルバキュアフロアブル

作物	適用病害	使用量		使用時期	総使用回数		使用方法
		希釈倍数	10アール当り 散布水量		本剤	テブコナゾール剤	
小麦	雪腐小粒菌核病	1,000~2,000	60~150ℓ	根雪前	1回	3回以内 (根雪前は1回以内、 融雪後は2回以内)	散布 無人ヘリコプター による散布
		500	25ℓ				
		16	0.8ℓ				

■ フロンサイドSC

作物	適用病害	使用量		使用時期	総使用回数		使用方法
		希釈倍数	10アール当り 散布水量		本剤	フルアジナム剤	
小麦	雪腐大粒菌核病 紅色雪腐病	1,000	60~150ℓ	根雪前	2回以内	3回以内 (は種前は1回以内、 は種後は2回以内)	散布
	雪腐小粒菌核病	1,000~2,000					
		250	25ℓ				

■ ランマンフロアブル

作物	適用病害	使用量		使用時期	総使用回数		使用方法
		希釈倍数	10アール当り 散布水量		本剤	シアゾファミド剤	
小麦	褐色雪腐病	1,000	100ℓ	根雪前	3回以内	3回以内	散布 無人ヘリコプター による散布
		250	25ℓ				
		8	0.8ℓ				

小麦雪腐病殺菌剤 混用事例

混用順序		使用方法	混用可否
①	②		
フロンサイドSC (1,000倍)	ランマンフロアブル (1,000倍)	地上散布	混用可
ランマンフロアブル (1,000倍)	フロンサイドSC (1,000倍)		
シルバキュアフロアブル (2,000倍)	ランマンフロアブル (1,000倍)		
シルバキュアフロアブル (500倍)	ランマンフロアブル (250倍)	ピークル(少量散布)	
シルバキュアフロアブル (16倍)	ランマンフロアブル (8倍)	無人ヘリコプター	

※この混用事例は、農業の現地混用に関する物理化学性の試験例・事例を参考として紹介するものであって、混用を薦めるものではなく、また結果を保証するものではありません。
※展着剤(グラミンS、まくびか)は薬液調製前に加用して下さい。

秋播小麦・雪腐病対策【残効性の評価と防除時期の考え方(北海道、平成26年普及推進事項より)】

防除時期の考え方		本剤は残効性に優れるため、根雪直前散布の必要はなく、より早期に防除を行うことができます。							
防除時期の例		● 小雪地帯: 過去の最も早い根雪始の時期を参考にする ● 多雪地帯: 各地域・圃場でスプレーヤによる防除が可能な時期							
対象病害		雪腐黒色小粒菌核病			雪腐褐色小粒菌核病			雪腐大粒菌核病	褐色雪腐病
薬剤名		フロンサイドSC	シルバキュアフロアブル	A剤	フロンサイドSC	シルバキュアフロアブル	A剤	フロンサイドSC	ランマンフロアブル
希釈倍数(倍)		1,000	2,000	500	1,000	2,000	500	1,000	2,000
残効の目安 (散布から根雪 までの降水量)	積算 降水量	120mm	100mm	40mm	150mm	85mm	25mm	120mm	80mm
	日最大 降水量	65mm	40mm	15mm	—	—	—	65mm	40mm
留意点		● 気象条件や圃場条件、散布機械の運用面など散布可否に関わる条件を優先して確実に散布を行う。 ● 輪作、適期は種や融雪剤散布など、耕種的な対策を行う。 ● 紅色雪腐病防除のための種子消毒を行う。 ● 本試験は散布水量100ℓ/10aで実施。							

